



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月27日
上場取引所 東

上場会社名 フジッコ株式会社
 コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福井 正一
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 尾西 輝昭 TEL 078-303-5921
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	41,352	△2.8	1,271	△51.9	1,557	△47.4	1,142	△48.1
2022年3月期第3四半期	42,552	—	2,645	△28.4	2,961	△26.7	2,202	△22.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,231百万円 (△29.4%) 2022年3月期第3四半期 1,744百万円 (△43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	39.80	—
2022年3月期第3四半期	73.62	—

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。比較対象となる会計処理方法が異なるため、2022年3月期第3四半期の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	79,350	68,199	85.9
2022年3月期	80,136	69,634	86.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 68,199百万円 2022年3月期 69,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2023年3月期	—	23.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,200	△1.6	1,500	△52.4	1,800	△48.7	1,600	△24.4	55.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 （社名） 、 除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	30,050,759株	2022年3月期	30,050,759株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,589,024株	2022年3月期	907,524株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	28,711,675株	2022年3月期3Q	29,921,044株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（J-E S O P）導入において設定した株式会社日本カストディ銀行（信託Eロ）」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託（J-E S O P）導入において設定した株式会社日本カストディ銀行（信託Eロ）」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中、円安やウクライナ情勢を背景とした原材料・エネルギー価格の高止まりが続き、先行きの不透明感が拭えない状態で推移しました。

食品業界におきましては、値上げが繰り返し実施され、生活者の消費マインドを低下させる厳しい状況となりました。

このような環境の中、当グループにおきましては、ブランド価値の強靱化、DXの準備等に取り組みました。年間を通じて一番の繁忙期となる12月は、年末の黒豆を中心に販売に注力いたしました。

売上高は、デザート製品は好調に推移しましたが、その他の製品群の減収により、413億52百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

利益面では、減収と想定を上回る原材料・エネルギーコストの増加等により、営業利益は12億71百万円（前年同四半期比51.9%減）、経常利益は15億57百万円（前年同四半期比47.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億42百万円（前年同四半期比48.1%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、中華惣菜を扱う子会社の株式会社フーズパレットが外販チャネルの開拓により堅調に推移し、「おかず畑」ブランドを中心とする包装惣菜は前年並みで推移しましたが、前期より政策的に進めた日配惣菜の減収等を受け、全体では前年実績を下回りました。

昆布製品は、主力のカップ佃煮は好調に推移しましたが、塩こんぶ、とろろ昆布、だし昆布等は前年実績を下回りました。今後の需要喚起に向け、12月より、よろこんぶキャンペーンを実施しております。

豆製品は、「おめめさん丹波黒黒豆」を中心に年末の拡販に注力しましたが、煮豆市場のダウントレンドと水煮・蒸し豆の苦戦により、前年実績を下回りました。今後は、2月に「おめめさん」のTVCMを予定しており、販売数を増やしてまいります。

ヨーグルト製品は、健康意識の高まりや巣ごもり需要で好調に推移した前期からの反動減で前年実績を下回りました。11月から12月にかけては、購買促進を狙って「家族と話したくなるヨーグルト“あのね”が聞こえる朝ごはんキャンペーン」を実施いたしました。

デザート製品は、「フルーツセラピー」シリーズの発売20周年記念キャンペーン等が寄与し、前年実績を大きく上回りました。11月より、期間限定商品「フルーツセラピー ゆず〜レモン果肉入り〜」を発売いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、株主還元、資本効率を意識した自己株式の取得等を継続して進めたことから、前連結会計年度末に比べ7億86百万円減少し、793億50百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億12百万円増加し、331億89百万円となりました。これは、年末にかけての売上高の増加により、売掛金が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20億99百万円減少し、461億60百万円となりました。これは主に、自社物件の整理や有形固定資産の減価償却が進んだことによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億47百万円増加し、92億24百万円となりました。これは主に、年末に向けた生産数の増加に伴い、仕入に係る買掛金が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加し、19億26百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14億35百万円減少し、681億99百万円となりました。これは主に、自己株式の取得と配当金の支払によるものです。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から85.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境などを踏まえ、2022年10月24日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

通期の営業利益は前回発表予想より3億円下方修正し前期比52.4%減の15億円を見込んでおります。これは、政策的なSKU (Stock Keeping Unit) 削減による売上高の減少を既存製品でカバーしきれていないことや、原材料やエネルギーコストの上昇が継続し利益を圧迫しているためであります。

なお、兵庫県西宮市に所有する土地を2023年3月に売却予定であり、特別利益として約6億円の計上を見込んでおります。

2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率
売上高	百万円 54,600	百万円 54,200	百万円 △400	% △0.7
営業利益	1,800	1,500	△300	△16.7
経常利益	2,000	1,800	△200	△10.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,800	1,600	△200	△11.1

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,778	9,824
売掛金	8,901	12,125
商品及び製品	1,145	1,319
仕掛品	245	201
原材料及び貯蔵品	8,499	8,928
その他	308	792
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	31,877	33,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,576	42,152
減価償却累計額	△25,386	△25,689
建物及び構築物(純額)	17,189	16,462
機械装置及び運搬具	31,954	32,109
減価償却累計額	△20,586	△21,921
機械装置及び運搬具(純額)	11,367	10,188
工具、器具及び備品	2,302	2,202
減価償却累計額	△1,698	△1,666
工具、器具及び備品(純額)	603	536
土地	13,190	13,125
建設仮勘定	46	46
有形固定資産合計	42,398	40,360
無形固定資産	356	443
投資その他の資産		
投資有価証券	3,611	3,399
繰延税金資産	692	709
その他	1,206	1,252
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,504	5,356
固定資産合計	48,259	46,160
資産合計	80,136	79,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,547	4,567
未払金	2,956	3,386
未払法人税等	701	7
未払消費税等	356	259
賞与引当金	483	115
預り金	78	318
その他	453	570
流動負債合計	8,577	9,224
固定負債		
退職給付に係る負債	1,150	1,159
従業員株式給付引当金	38	38
その他	735	728
固定負債合計	1,924	1,926
負債合計	10,502	11,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	1,006	1,006
利益剰余金	62,873	62,684
自己株式	△1,728	△3,062
株主資本合計	68,717	67,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	1,033
退職給付に係る調整累計額	△40	△27
その他の包括利益累計額合計	916	1,005
純資産合計	69,634	68,199
負債純資産合計	80,136	79,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	42,552	41,352
売上原価	28,193	28,941
売上総利益	14,358	12,410
販売費及び一般管理費	11,713	11,138
営業利益	2,645	1,271
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	194	199
受取賃貸料	49	45
売電収入	38	42
その他	72	37
営業外収益合計	355	324
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	21	18
売電費用	15	17
その他	1	2
営業外費用合計	38	38
経常利益	2,961	1,557
特別利益		
固定資産売却益	110	138
投資有価証券売却益	434	126
国庫補助金等収入	46	42
特別利益合計	591	306
特別損失		
固定資産処分損	400	57
投資有価証券売却損	—	32
減損損失	—	137
特別損失合計	400	228
税金等調整前四半期純利益	3,152	1,636
法人税、住民税及び事業税	1,185	549
法人税等調整額	△235	△56
法人税等合計	949	493
四半期純利益	2,202	1,142
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,202	1,142

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,202	1,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△471	75
退職給付に係る調整額	13	12
その他の包括利益合計	△458	88
四半期包括利益	1,744	1,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,744	1,231
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、2021年11月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式681,900株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,335百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,062百万円となっております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	14,169	33.3%	14,014	33.9%	△155	18,551	33.7%
昆布製品	11,188	26.3%	11,040	26.7%	△148	14,500	26.3%
豆製品	8,319	19.6%	7,871	19.0%	△448	10,515	19.1%
ヨーグルト製品	5,313	12.5%	4,906	11.9%	△407	6,908	12.5%
デザート製品	1,885	4.4%	2,056	5.0%	170	2,446	4.5%
その他製品	1,675	3.9%	1,463	3.5%	△211	2,152	3.9%
合計	42,552	100.0%	41,352	100.0%	△1,200	55,074	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。